

現職場における災害対策とその活動について

ディアコニア支援センター 深田聖子

要旨

東日本大震災から防災意識が皆高まり、避難所の再認識や津波タワーなどの建設等、色々な取り組みを目にする。介護福祉施設においても防災意識が高まり施策や対応が求められている。地域と職場の現状把握が必要であり求められている。災害対策に関して考える機会、意識付けを実践より考えてみたい。

1 目的

①地域の利用者及び家族に「災害に関するアンケート」を実施し防災対策の現状を把握、地域課題を考えていく。

②デイ・居宅・事務共同で「防災訓練」を行う。防災委員として事前準備、台本作り、訓練実行を職員と連携し行う。その後「今後の課題」を検証し次年度の防災訓練に生かしBCP見直しにも活かしたい。

2 方法

①地域住民へのアンケート調査を地域の利用者様とその家族に行う。抽出方法は訪問面接調査で職場により近い順番に自分の担当利用者宅 30 件を抽出、アンケート用紙を用いて行う。※倫理的配慮として調査対象者には研究の趣旨を口頭にて説明し同意を得た。又、本報告にあたり個人が特定できないように配慮を行う。

②法人の防災委員として「デイサービス・事務・居宅 在宅部 合同防災訓練」を実施し、実施後に振り返りを行う。

3 結果

①地域住民へのアンケート

ア) 防災への意識は高まりましたか? 「はい」87% 「いいえ」13%

イ) 大きな自然災害が発生する確率が年々高まっていると感じますか? 「高まっている」37% 「高まってない」3% 「わからない」23% 「やや高まっている」37%

ウ) 備蓄品などは定期的に見直しを行っていますか 「はい」50% 「いいえ」50%

エ) どの程度の頻度で備蓄品の見直しをしていますか? 「2年に1度」23% 「気づいた時」23% 「半年に1度」23% 「1年に1度」17% 「3ヶ月に1度」14%

オ) あなたは、非常食や水を何日分用意していますか? 「1週間」55% 「3日」14% 「5日」9% 「用意してない」4% 「2週間」4%

カ) あなたは、「ハザードマップ」などで、ご自宅周辺の災害リスクを確認していますか? 「はい」50% 「いいえ」50%

キ) 災害時自宅以外に家族との集合場所を決めていますか? 「はい」83% 「いいえ」17%

②「デイサービス・事務・居宅 在宅部 合同防災訓練」を11月に行い振り返りを行う

4 考察

①地域住民へのアンケートは結果では3日、5日備蓄品用意の家庭には1週間の備蓄品の用意が必要な事を今後伝えていく。家族状況や身体状況、住んでいる場所により避難場所や対応が判断しにくい状況もある。そこは一緒に考えていく必要がある。

②防災訓練は継続して行う必要があるとの意見が振り返りでの気づきの中では多かった。声掛けや事前準備の必要性も課題として上がっている。振り返りを来年度の防災訓練の課題とし、災害時BCPの見直しも併せて行っていきたい。

5 まとめ

①アンケートの聞き取りでの気づきを、施設や事業所に報告・周知し、地域の課題を考えていく

②福祉避難所としての役割もある自施設で防災訓練を定期的に行い職員の防災意識を高めていく必要がある。又防災訓練を行う中で災害時BCPの見直しを都度行うべきとの課題も見えてきている。

参考文献

災害対応マニュアル 第5版 (日本介護支援専門員協会)